

## 編集室から

今月の寄稿欄に井垣さんが触れておられますが、ワクチン接種が進まないと新型コロナウイルスは収束しないそうです。

私事で恐縮ですが、ここ最近出張が多く、接種の予約に際して、3～4週間後に必ず二回目の日程を確保する必要があり、一回目の目処も立たずにいました。接種が先か、出張が先か、よく考えたら当たり前なのですが、甚だ矛盾している事態でお恥ずかしい限りです。

ようやく二度の日程確保ができ、近々接種を受けられる予定です。

一方で、ワクチン接種が終わった安心感からか、マスクをしていないご老人を見かけるようになりました。「接種完了＝感染しない」という勘違いの図式が成立しているのでしょうか。

ご自分は、症状が出ない・重篤化しないかもしれませんが、ウィルスが身体・衣服に付着していない保証はどこにもありません。むしろ、これだけ感染が拡大している以上、ウィルスが付着していると考えたほうが自然ですし、当然ではないかと思えます。

身体・衣服にウィルスが付着しているということは、自分が、身近な人にウィルスを拡散していく媒体にもなっているということです。

ワクチンを接種したから、安心・無防備で構わないのではなく、引き続き周囲にウィルスを拡散させないために、手洗い・うがい励行、身体清潔・マスク着用を継続するというのが、真摯な社会的貢献行動ではないでしょうか。

こういうところにも、自分のことしか考えられていない人か、身の回りという「小さくとも社会」を見渡すことができる人なのか、簡単にバれてしまうと思います。

おっと…。接種を終えていない身が偉そうに言えるお話ではありませんでした。体調を整え、予定通り受けることが大切ですね。(は)



のと  
だらぼち

本ニュースにレギュラー執筆していただいている川島さんが「能登だらぼち」を引き受けて改装開店されました。

上京された際、ご利用になってみてください。

のと だらぼち  
03-5537-3078  
17:00～23:00 日曜祝休

中央区銀座8-4-27  
プラザ銀座ビル地下1階  
(銀座外堀通りasics前)

このニュースは、計画に携わる若手の技術者を育てることを目的に発行を始めました。その後、計画という仕事の内容や、普段、計画マンがどのようなことを考えているのかなどに触れて、少しでも業界を知っていただければと考えて編集しています。

2021/09  
(株)アスリック  
<http://www.neting.or.jp/usric>  
〒920-1167  
石川県金沢市もりの里1-149-302

電話 076-233-7217  
Fax 076-233-7375  
Email [usric@neting.or.jp](mailto:usric@neting.or.jp)

2021/09  
(株)アスリック  
<http://www.neting.or.jp/usric>

# 長 月



福井県小浜市にて  
by hama

「崩れ始めた終息のシナリオ」

COVID-19のような新規の感染症を終息させるには、ワクチンが特効薬しかありません。どちらも開発には時間がかかります。それで自粛と緩和を繰り返しながら時間稼ぎしてきたわけですが、mRNAワクチンという期待を超える新兵器が実用化されて一気に終息が見えたかと思われました。しかし今そのシナリオが、怪しくなってきました。

終息のシナリオを崩す第一の要因は、変異株です。感染爆発を繰り返している間に、世界規模で感染力の強まる変異が進んでしまいました。「NHK新型コロナウイルス特設サイト」や「ジョンズ・ホプキンス大学COVID-19ダッシュボード」によると、二回のワクチン接種を終了した人が国民の六十%を超えたヨーロッパ諸国でも感染の再拡大が続いています。七十%のワクチン接種で集団免疫が成立して未接種者でも守られる、という甘い考えは見直しを迫られています。

しかし、これはワクチンのせいではありません。何度も触れてきましたが、どんな素晴らしいワクチンでも決して万能ではありません。二回接種しても、何故か抗体の出来ない人はゼロではありません。しかし住民の集団として見れば、効果は明らかです。グラフを見てください。年齢別の統計は東京都くらいしか公表していないのですが、感染者の中で六十五歳以上の占める割合はワクチン接種と時を同じくして着実に低下してきています。重症者は感染者の一定割合しか出ませんから、ワクチン接種により感染者の数を抑える事ができれば医療崩壊は回避できます。

「濱の起業塾 廿九『概論⑪』」  
起業活動に限らず、さまざまな場面で目的と目標が混同され、いつのまにか目標が目的化して道を誤ることがしばしば起きます。

かく言う自分も、「家族を喜ばせたい」という目的で企画した旅行中、アクシデントなどによって立ち寄る予定の観光地に寄れそうになくなった時、非常にイヤについて雰囲気合無しにしまった経験がある。

そこに立ち寄ることは目標の一つに過ぎず、あくまで目的は「家族の笑顔・善き思い出づくり」なのであれば、どのような事態になっても柔軟に対応し、旅の雰囲気を最大限良い状態に保とうとすることが目的に沿った言動のはずだろう。

「初心忘るるべからず」。実に深い。  
初心とは、当初設定した目的であると読み替えれば、それを方法・手段に落とし込む際に現れる目標に、いつの間にかすり替わっては居ないか、常に確認せよ、という先達からの教えと読めはしまいか。

お恥ずかしい例を紹介し上げたが、我々はつい初心という目的を忘れてしまう生き物なのかもしれない。だからこそ、目的という初心を忘れることの無いよう、実際のノズルをいつでも確認できぬよう、しっ

いとすれば、たとえワクチン接種率が日本国民の九十%に達したとしても残る十%の十万人以上には感染の危険性があります。重症化率がパーセントとしても、重症者数は数万人に達するでしょう。一日の感染者数が二万人という今の危機的なペースでも、五百日は感染が続く計算になります。これには、日本の医療システムも医療者も耐えられません。

「このワクチンは絶対に安全だ」などと思って接種を受けた医療者は、一人もいないと思います。職域接種から一週間ほどで、接種部位より下に赤く痒みを伴う皮疹（モテルナアーム）を度々見かけます。マイナス二十℃保存を可能にした、企業秘密の氷山の一角を見る思いです。それでもリスク覚悟でワクチン接種を受けなければ、医療行為を続けることはできません。



（プロフィール）

（いがぎ としお）金沢大学北渌寮で、濱さんの二年後輩でした。濱さんは、とっても怖かった…。卒業後は金沢を離れ、現在は温暖な讃岐高松で又クヌクしています。

かりと書留め掲げておくの良いのかもしれない。これがかつて、企業では社是として顕されていたのかも知れない。社是は無くとも、それに代わる「初心を忘れない手だて」は、持っておきたい。

起業活動において、起業目的を書留める際、まずは率直な気持ちで臨んだ方がよいと思う。他人の目を気にし、綺麗ごとで記してしまつと、すぐに形骸化する。

「独立したい・自分の手で稼ぎたい」でも良い。が、なぜ独立したいのか・自分の手で稼ぎたいと考えているのか。それも率直に振り返ってほしい。生々しい理由こそが、ほんとうの動機だから。それは他人に見せる必要はない。対外的にはもう少し化粧を施して表したとしても、自分の本心は、初心として赤裸々に記録しておく方が、思い出しやすい。

最新の研究によると、遺伝子はかなり利己的であるそう。そのような利己的な身体に宿っている我々の意識もまた、本来は利己的なのかもしれない。しかし、全員が利己なだけの言動に走っては、他人の力を借りなければ成せない成果は得られない。どのように利害を調整していき、ともにそれぞれの描く利を分けていくのか。まさにその点にこそ、目的を手段に変換する際の真価が問われるのだと思う。

上場企業の資料から、2020年の外食・小売業界の状況を概観する。データは全て既存店売上高の対前年同月比である。

外食業界では、家族等のグループが主要顧客の「すかいらーく」、「丸亀製麺」、「くら寿司」は、最初の緊急事態宣言下の4月に売上半減。その後、回復基調にあるものの「すかいらーく」、「丸亀製麺」は一度も前年を超えることがなかった。「くら寿司」は、主にGoToEatのオンライン予約によるキャンペーンにより、10,11月は前年を大きく上回った。一方で、ドライブスルー等のテイクアウト利用が進んだ「マクドナルド」は、緊急事態宣言下でも好調を維持、通年でも前年超えを達成。個人客が中心の「すき家」では緊急事態宣言下での減少幅を1割程度にとどめるなど、比較的安定した売り上げとなっている。

百貨店は緊急事態宣言下でほぼ休業し、「三越伊勢丹」の4,5月は8割減、その後も前年を2割程度下回って推移。訪日外国人観光客の売上蒸発も大きく影響。ドラッグストアはコロナ禍がプラスに働き、「ウェルシア」は2月のマスク等衛生用品のパニック買いを中心に年間を通じて好調。ホームセンター業界にも追い風が吹き、DIYやアウトドア需要の高まりが生じ、「DCM」は緊急事態宣言後の6月を中心に売上を伸ばしている。食品等の日用品まとめ買いの傾向が強まったことなどにより、食品スーパー「バロー」にはややプラス、コンビニエンスストア「セブンイレブン」にはややマイナスの影響が生じた。

「ニトリ」は家具等のおうち需要を取り込み好調。「ビックカメラ+コマ」は、オンライン対応、東京オリパラ延期などプラスマイナスが混在しやや減少。

衣料品は緊急事態宣言に伴い需要半減となったが、その後ベーシックな「ユニクロ」は急回復を見せ6月以降は前年を上回って推移、3~5月の減少をカバーする形。レディースの「アダストリア」も回復が著しいものの、前年の水準には達していない。ビジネスウェアの「青山商事」はより厳しい状況が9月まで続き、10月以降はやや持ち直したものの12月は再び2割減。

自転車の「あさひ」は公共交通機関の回避や健康志向の高まりを受け、大きく売上を伸長。スポーツ用品「ゼビオ」、シューズの「ABCマート」では、商品によって差が生じているものの、総体としてはやや売上を減らしている。スポーツやアウトドア関連はコロナ禍において好調なところも多い。

対個人サービス業のアミューズメント「ラウンドワン」、スタジオ撮影の「スタジオアリス」は、緊急事態宣言下でともに壊滅的ダメージを受けたが、その後、「ラウンドワン」は前年の約2割減なのに対し、「スタジオアリス」は概ね前年を上回る水準で推移し、繰越需要の顕在化が生じているものと思われる。

2021年もあと3/4が過ぎあと4か月となりました。『嘉浩、人生なんて光陰矢の如しだからね』とよく母親に言われたことが今になって身に染みみます。

9月と言えば大正時代に発生した関東大震災を教訓とすべく防災月間とされています。先月に資格取得にはまっていますというお話をさせていただきましたが、先日「防災士」の証明書が手元に届き、鉄は熱いうちにとということで防災士のスキルアップを目的とした講習に2日間行ってきました。主に学んだことが、『地域防災計画づくりにおける防災士の役割「地域住民をどう巻き込んで行動計画化するか?」』というものです。

防災士を取得したきっかけが、町会長から目黒区への推薦がきっかけで、地域防災に貢献する人材育成ということが背景にあります。しかし現状防災対策<コロナ対策という感になっており、避難所運営協議会などはこの1年以上開催されておらず、今災害が起きたらどうするんだろうという不安がありつつも、やはり今目の前に起きている脅威への対応優先というのでも致し方がないのかなと思ってしまいます。しかし、首都圏直下地震、南海トラフ地震がこの30年以内に7割以上の確率で発生するという予測が出ています。南海トラフが発生時には四国から関東の沿岸では10メートルを超す津波が地震発生から5分以内に到達するという予想されます。東日本大震災では最も震源地から近かった三陸海岸でも地震発生から約30分後の地震到達であのクラスの被害が出たことを考えると、その被害の甚大さは想像に難くないでしょう。国の予測では32万人以上の死者が出るという数字も出されています。

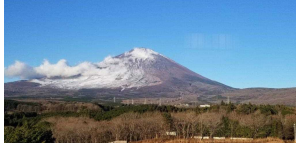
私たちは過去の教訓から学んで大切な人の命や財産を守らなければなりません。例えば1995年に起きた阪神淡路大震災では、神戸市長田区の火事が映像としてインパクトがありましたが、実は死者の8割近くが地震発生15分以内に亡くなっています。つまり建物の倒壊や家具の下敷きによる窒息死・圧死が原因なのです。1981年以前の基準で建てられた古い木造建築の家屋の2割が、1972年以前のものにおいては6割以上の家屋が倒壊・大破・中波しました。つまり『家の耐震強化』が阪神淡路大震災の教訓なのです。家が倒壊さえしなければあの火事もあそこまでの規模にはなりません。しかし、令和の現在においても700万戸余りが耐震性不十分という推計が出ています。2011年に起きた東日本大震災。皆さんもあの津波の映像は頭に焼き付いていると思います。あの地震での教訓とはなんなのでしょうか？

(つづく)

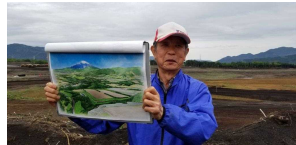
## 『相模の国から ～大魔神のたび～』 小山町セミナー2021.5.15～16 神奈川県南足柄市企画部・都市部・教育部参事 溝口 久

こうしたセミナーの場合、聞き放しに終わらせないのが私流だ。参加者の皆に自己紹介と今日聞いた話での気づきや感想をリリーススピーチしていただくことにしている。いずれの方々も大きな刺激を受けたようで嬉しい。これを機会に個々のネットワークが広がることを期待している。

翌日は小山町ツアーだ。マイクロバスを手配し皆乗り込む。雨が降り始めていた。まずは、最近できたばかりの工業団地に立地し建設が進むE.N.ボード(株)の現場に向かった。新東名のスマートインターチェンジに取り付く道路の整備が進んでいるから、昨年の風景とは異なってきている。富士スピードウェイゲート前にはモータースポーツビレッジの区画整理が、そしてホテルハイアットの建設も進んでいる。国内ではほとんど見る事のないラウンドバウトの交差点もしっかり出来上がっていた。



工場建設現場に着くと日曜日にも関わらず現地代表者が待っていてくれた。込山前町長の時に進出の話をつけていることによる。木材チップを年間24万t(原木換算50万立米)から18万tのパーティクルボードを作り出す。静岡県全体から切り出される丸太を全て使用するに値する生産規模だ。ちなみに日本の木材需要量は7千万立米、自給率30%、平成12年には18%まで低下、これが増加傾向になっている。これはパーティクルボードに国産間伐材を利用していることが大きく寄与している。



敷地面積9.3haは隣接する県企業局が造成した工業団地が1～5haだから群を抜いて広い。ここに250億円も投資しての建設だ。建設途中ではあるが、完成した工場棟もある。とてつもなく長い生産ラインに、見たこともないどかいフォークリフトがある。ロングスパンの鉄骨構造にも興味湧く。今年中には稼働開始だ。従業員も130名ほど、最初は本社からもスタッフは来るが徐々に地元採用者での運転に切り替えていくとのこと。

働く場ができれば住宅が欠かせない、でないと働くのは小山町、住むのは御殿場になりかねない。住宅政策として役場そばにP.F.I.による中堅所得者層向け地域優良賃貸住宅40戸を建てた。昨年夏より入居が始まり、すでに満室だ。地優賃を建てることを県に話したときに、「どこも空き家が目立ち、このところ手がける市町はないよ」と言われた。やめる気はさらさらなかったけど、小生は「20戸程度の木造テラスハウスにしよう、P.F.I.も気が乗らない」と町長に申したが却下された。「借金をこれ以上増やせないから、町の負担が最初から生じないP.F.I.で。町の中心部でもあるので中層のRC住宅で富士紡の長屋があった時の戸数は確保するように」と厳命を受けた。結果、指示は正しかった。

次に「ロジスティクスターミナル」エリアの開発現場に立つと、平場を造るための造成工事が着々と進んでいる。場外搬出土をゼロに切り盛りをしている最中だった。ここから国道246号線に直接つなげる道路が計画され、取りつく246号の線形を直す工事も国が進めている。

開発には木の伐採がつきもの。伐り出された木は町内にある原木流通センターに運び込まれ、樹皮が剥かれ定尺に切られ、径ごとに丸太が分けられていく。これを町内にある製材所に持っていき製材・乾燥し「富士山金時材」のブランド名が付き市場に出ていく。製材時に出る端材はペレット化しバイオマス発電に、そして高糖度トマト「アメーラ」を生

産する4haの巨大温室の熱源として使われている。樹皮はバーク堆肥になる。地産地消の仕組みができていく。さらに皆伐の土地の緑地部分には在来種が植えられ、10年後には林の中に建物が見え隠れするようになる。

この後、ランチを兼ねて富士山五合目を目指した。5月中旬のこの時期には「幻の滝」が富士山に現れる。積もった雪が太陽の日を受けて溶け始め午後になって五合目まで流れてくるというもので、ちょろちょろ流れ始めたものが流れを増してくるので見応えがある。東富士山荘でキノコ鍋定食をいただいた後、滝を見に行こうと思ったが、雨が降りガスも出ていて視界が怪しく断念せざるを得なかった。



午後の視察は小生が携わった富士紡績の殖産興業遺産活性化プロジェクトを案内することとした。

小山町着任2年目から退任するまで5年間、12億円をかけたものだ。

まずは豊門公園。この中には最近BS朝日の「百年の名家」で紹介された富士紡初代社長の和田豊治邸が大正14年に東京から移築して存在している。他にも旧青年学校だった西洋館がある。二棟の建物の大改修、公園のリニューアルをした。

公園の特徴として、洋と和、ランドスケープ、歴史を物語る二体の銅像及び当時の石碑、寄付銘板、寄付ベンチ、珍しい植栽が挙げられる。

豊門会館は玄関入って正面に渋沢栄一著の額、右側の部屋が展示室になっており、展示は自作である。洋間の応接室、サンルーム、書院造の和室、数寄屋の和室に自分好みに飾った軸・額がある。当時と変えたものはエレベーターの設置、トイレ、住み込み管理人室ぐらいである。

一方、西洋館は寄宿舍を転用したこともあって、建築当初の意匠は階段周りで見られるぐらいで、木の外壁は腐朽で穴が開き中が見えるほどまで痛んでいた。階段ホールと軸組を再利用した程度で他は新たな材料を使用している。1階はレストランができるプランとし2階は歴史ギャラリーとしている。昨年1月から7月まで、この展示及び資料整理をしていた。富士紡という一企業の歴史的資料を役場が持ち、これを公開しているケースは殆ど見受けられない。公園から建物・展示を念入りに見ようとすると3時間くらいかかる。残念ながら建物内部はコロナ禍を言い訳に公開していない。



次は森村橋だ。富士紡の玄関口に明治39年に架けられた鋼単純下路式曲弦プラットラス橋である。使われなくなって錆付いた橋を当初の姿に復元したものである。この仕事が評価され土木学会田中賞をいただくことになった。大変光栄なことである。

橋の袂に橋の名の謂れとなった森村市左衛門の銅像及び「橋の歴史、復元工事の内容、錆がひどくて再利用できなかった材の研究利用、寄付のこと」を記載した説明版を置いた。ここに込山前町長が寄付したベンチがある。これに「小山町まちづくり専門監 溝口久君に捧ぐ 森村橋に宿る魂 富士紡の遺産をここに蘇らせ 歴史的遺産として後世に伝う 小山町のまちづくりに多くの足跡を残してくれた溝口久の名を我が心に刻む 2020.8 込山正秀」と記してくれたことは、小山町にいたことの最高の証となった。他に国交省都市局長賞を受賞した金時公園、隈研吾デザイン足柄駅を案内し本ツアーを締めくくった。(了)

